

金融広報中央委員会の活動 (2016年度<平成28年度>)



はじめに

I ネットワークを活用した金融広報活動の推進体制の整備

1. 「大学における金融リテラシー連続講義」の拡充
2. 関係団体・行政機関との更なる連携強化
3. 都道府県金融広報委員会と委員団体等との一層の連携強化
4. 消費者教育との連携強化
5. 国際的な情報の収集と発信

II 波及効果を重視した金融広報活動の推進

1. ホームページのリニューアル等
2. 児童・生徒（小学生・中学生・高校生）向け活動
 - (1) 教員向け支援の拡充
 - (2) 「金融教育フェスタ」の開催
 - (3) 「金融教育プログラム」を基にした教材の整備
 - (4) 「子どものくらしとお金に関する調査」結果の公表
3. 大学生向け活動
(大学における講義＜大学連携講座を除く＞の拡充)
4. 社会人向け活動
 - (1) ライフステージに応じたチャンネルとコンテンツの拡充
 - (2) 「家計の金融行動に関する世論調査」結果の公表
 - (3) 「金融リテラシー調査」結果の公表

Ⅲ 都道府県金融広報委員会向けサポートの強化

1. 「金融・経済講演会」への講師の紹介・派遣等
2. 情報・ノウハウ共有、スキルアップ支援等
 - (1) 活動事例の共有
 - (2) 教育ノウハウの向上
 - (3) 各種活動の効果的かつ効率的な運用

〔参考〕都道府県金融広報委員会を通じた活動

1. 金融広報アドバイザー制度
2. 金融学習グループ制度
3. 金融・金銭教育研究校制度
4. 金融教育研究グループ制度
5. 金融学習特別推進地区制度

(資料) 金融広報中央委員会活動の相互連携図

はじめに

金融広報中央委員会では、2016年度の基本方針「広めようお金の知恵 ～生きる力、自立する力を高めるために～」の下、「ネットワークを活用した金融広報活動の推進体制の整備」と「波及効果を重視した金融広報活動の推進」を軸として様々な活動を展開して参りました。前者につきましては、「金融リテラシー・マップ」および「金融教育プログラム」を基にした関係団体、行政機関、委員団体等との連携強化を通じて、効果的かつ効率的な金融広報活動の拡充を図りました。また、後者につきましては、これまでの波及効果を重視するスタンスを維持しながら、金融広報活動の対象層毎の特性をこれまで以上に意識したチャンネルやコンテンツの整備を行いました。

当委員会としましては、今後も、関係団体等と連携しながら、引き続き金融広報活動に積極的に取り組んで参りたいと考えています。

I ネットワークを活用した金融広報活動の推進体制の整備

1. 「大学における金融リテラシー連続講義」の拡充

2016年度は、金融経済教育推進会議の構成団体との連携による「大学における金融リテラシー連続講義」（以下、「大学連携講座」）の開講大学数を昨年度の5大学から8大学¹に拡充しました。併せて、これまでの講義での経験を踏まえ、同講義で使用する「標準講義資料」を改訂しました。

また、大学連携講座の開講先拡大を企図して、上記「標準講義資料」の公開に向けた取組みも行いました（同資料は、2017年5月に、「大学における金融教育に関するモデル講義計画と講義資料」として当委員会ホームページに掲載しました）。

更に、大学サイドの潜在的な受講ニーズの高まりに対応するため、大学連携講座の講師の担い手拡充を目的として、都道府県金融広報委員会の金融広報アドバイザー等への教育ノウハウの移転を図り、複数の大学で現地の金融広報アドバイザーを大学連携講座の講師として起用しました。

2. 関係団体・行政機関との更なる連携強化

関係団体・行政機関（以下、「関係団体等」）との連携では、これまでの金融経済教育推進会議を通じた情報共有・意見交換に加え、授業ノウハウや専門知識の共有を狙い、関係団体等との合同勉強会（テーマ：個人型確定拠出年金）を初めて開催しました。また、関係団体主催の指導者向け研修会に当委員会から講師を派遣したほか、当委員会主催の金融広報アドバイザー研修会に関係団体等の講師を傍聴させるといった取組みも行いました。

このほか、金融庁が2017年2月に設置した「家計の安定的な資産形成に関する有識者会議」にもオブザーバーとして参加しました。

この間、前年度に続き、各関係団体等が全国各地で開催する教員向けセミナーに関する情報（開催日時、場所等）を集約したうえで、当委員会ホームページでの一元的な情報提供も行いました。

なお、関係団体等が2015年度に実施した学校での出前授業や社会人向けセミナー等の回数は8,210回、受講者数は、把握可能な限りで26.5万人となりました。

¹ 東京家政学院大学、青山学院大学、県立広島大学、慶應義塾大学、金沢星稜大学、神戸国際大学、東北学院大学、武蔵野大学の8大学。

3. 都道府県金融広報委員会と委員団体等との一層の連携強化

都道府県金融広報委員会（以下、「各地委員会」）とその委員団体等（地方公共団体、地域金融機関、消費者団体等）との連携強化が各地における金融広報活動の更なる活発化に繋がると考え、当委員会では、各地委員会による委員団体等との連携事例やそのノウハウ等を収集し、事務局長・責任者会議や事務局員会議を通じて各地委員会に還元しました。

4. 消費者教育との連携強化

当委員会会長は、消費者庁を事務局とする消費者教育推進会議に委員として参加し、当委員会が実施した金融リテラシー調査の結果について説明したほか、同会議に参加する官庁や団体等との情報交換に努めました。

そのほか、当委員会から消費者教育推進団体主催の研修会に講師を派遣したほか、当委員会作成のパンフレット等の提供も行いました。

5. 国際的な情報の収集と発信

当委員会では、当委員会事務局員が OECD 主催の「金融教育に関する国際ネットワーク会議（OECD/INFE）」²の実務者会議等に参加し、金融教育を巡る国際的な動向把握に努めるとともに、わが国の取組状況や金融リテラシー調査の結果等を報告しました。また、同調査のデータを OECD/INFE の事務局に提供しました。

² OECD では、2008 年 5 月に、金融教育についての情報共有・分析等のための組織として「金融教育に関する国際ネットワーク（International Network on Financial Education、INFE）」を組成し、以後、半年に 1 回のペースで会議を開催しています。

Ⅱ 波及効果を重視した金融広報活動の推進

1. ホームページのリニューアル等

当委員会は、2017年1月に、利用者の一層の使い易さに配慮したホームページの全面リニューアルを実施しました。

従来は、全ての情報をトップページに案件・事業内容別に掲載していましたが、リニューアル後は、トップページをユーザー別に「一般の方へ」と「教育関係の方へ」に分けました。「一般の方」向けには、ライフイベント別に入り口を作り、情報を再整理しました。また、「教育関係の方」向けには、授業の進め方・実践事例集、教材・指導書、イベント・セミナー情報といった、教育関係の方々のニーズが高い情報にアクセスしやすいように配慮しました。また、スマートフォンの画面でも見やすいデザインとしました。

併せて、当委員会紹介パンフレットおよびホームページ紹介パンフレットも全面改訂し、2017年2月に各地委員会等に配付しました。

▼ホームページ・リニューアル後のトップページ

【一般の方向け】



【教育関係者の方向け】



【当委員会紹介パンフレット】



【ホームページ紹介パンフレット】



2. 児童・生徒（小学生・中学生・高校生）向け活動

(1) 教員向け支援の拡充

（「先生のための金融教育セミナー」の開催）

当委員会では、毎年、小学校・中学校・高等学校・大学等の教員等を対象に、学校における金融教育の重要性や具体的な実践ノウハウを紹介する「先生のための金融教育セミナー」を開催しています。2016年度も、前年度に引き続き、2016年8月に東京で2回開催しました。また、「金融教育フェスタ」（後述）のプログラムとしても、地方の2都市（広島市<2016年11月>、沖縄県宜野湾市<2017年1月>）において同様のセミナーを実施しました（各セミナーの詳細については、別添1をご覧ください）。

このほか、各地委員会が主催する教員向けセミナーや金融・金銭教育協議会への講師の紹介・派遣等も継続的に実施しました。

（小論文・作文コンクールの開催）

① 「おかねの作文」コンクール

当委員会では、中学生が金融や経済に興味を持ち、それを作文に仕上げることを通じて考える力、伝える力を高めることを目的として、「おかねの作文」コンクールを実施しています。

「おかねの作文」コンクールは今年で49回を数え、学校応募が258校、個人応募が30件、計3,392編の応募がありました。審査の結果、特選5編³、秀作5編、佳作50編を入賞作品として表彰しました。このうち、特選、秀作、学校賞（特選受賞者在籍校が受賞）の入賞結果は次のとおりです。

【審査員】（敬称略）

長岡 寿一	金融庁総務企画局政策課課長補佐
望月 昌代	文部科学省初等中等教育局視学官
寺本 充	公益社団法人日本PTA全国協議会会長
新飯田 潤一	全日本中学校国語教育研究協議会会長
蔵本 雅史	日本銀行情報サービス局金融広報課長
前川 瑞穂	金融広報中央委員会事務局次長

【表彰作品】

（特選）5編

（敬称略）

入賞者	作品名
金融担当大臣賞 北海道 札幌市立真栄中学校3年 長嶋 咲未	「百点貯金」から学んだこと
文部科学大臣賞 兵庫県 川西市立東谷中学校3年 向山 佳奈	お金の価値
日本銀行総裁賞 新潟県 新潟大学教育学部附属新潟中学校3年 高橋 まりあ	十円玉三枚の重み
日本PTA全国協議会会長賞 東京都 東京学芸大学附属国際中等教育学校2年 平澤 宏凜	一円玉一枚は一つの思い出
金融広報中央委員会会長賞 神奈川県 カリタス女子中学校1年 酒谷 南帆	祖父のランドセル

（秀作）5編

（敬称略）

入賞者	作品名
宮城県 古川学園中学校2年 後藤 由佳	祖母の努力
東京都 東京学芸大学附属国際中等教育学校2年 青山 瑞季	フェアなお金の使い道
京都府 洛南高等学校附属中学校2年 大上 紗英	価値あるお金の使い方

³ 特選は、①金融担当大臣賞、②文部科学大臣賞、③日本銀行総裁賞、④日本PTA全国協議会会長賞、⑤金融広報中央委員会会長賞としても表彰しています。

大分県 向陽中学校2年 木谷 智哉	募金を通して思ったこと
長野県 駒ヶ根市立赤穂中学校3年 渡邊 成美	ストップ5 (ファイブ)

(学校賞)

北海道 札幌市立真栄中学校
東京都 東京学芸大学附属国際中等教育学校
神奈川県 カリタス女子中学校
新潟県 新潟大学教育学部附属新潟中学校
兵庫県 川西市立東谷中学校

②「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

当委員会では、高校生・高等専門学校生・高等専修学校生が、金融や経済について関心を持ち、自身の考えを論理的に記述することを通じて思考力や表現力を高めることを目的とした「金融と経済を考える」高校生小論文コンクールを実施しています。

14回目となる今回は、学校応募が72校、個人応募が198件、計2,486編の応募がありました。審査の結果、特選5編⁴、秀作5編、佳作50編を入賞作品として表彰しました。このうち、特選、秀作、学校賞（特選受賞者在籍校が受賞）の入賞結果は次のとおりです。

【審査員】（敬称略）

天野 晴子	日本女子大学教授
西村 隆男	横浜国立大学教授
松島 斉	東京大学大学院教授
武田 一彦	金融庁総務企画局政策監理官
矢幅 清司	文部科学省初等中等教育局視学官
上村 肇	全国公民科・社会科教育研究会会長
鶴海 誠一	日本銀行情報サービス局長
吉國 眞一	金融広報中央委員会会長

⁴ 特選は、①金融担当大臣賞、②文部科学大臣賞、③日本銀行総裁賞、④全国公民科・社会科教育研究会会長賞、⑤金融広報中央委員会会長賞としても表彰しています。

【表彰作品】

(特選) 5 編

(敬称略)

入賞者	作品名
金融担当大臣賞 兵庫県 西宮市立西宮高等学校 1 年 田淵 瑚華	高齢化社会を考える
文部科学大臣賞 埼玉県 立教新座高等学校 2 年 土屋 翔	学校施設の活用による社会貢献
日本銀行総裁賞 徳島県 徳島市立高等学校 1 年 澤田 晴奈	移る世が映し出す日本の在り方
全国公民科・社会科教育研究会会長賞 石川県 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属 高等学校 1 年 林腰 杏優	観光のその先へ
金融広報中央委員会会長賞 三重県 三重県立宇治山田商業高等学校 3 年 西村 夏紀	深刻化するシングルマザーの 貧困

(秀作) 5 編

(敬称略)

入賞者	作品名
和歌山県 和歌山県立田辺高等学校 1 年 阿武 優作	和菓子から考える金融
海外 早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校 2 年 小野 たえ	たくさんの「あたりまえ」
京都府 同志社女子高等学校 3 年 中島 はる	空き家活用による地域活性化 の提言
愛媛県 愛媛県立大洲高等学校 3 年 上田 悠	高校生にもできる町おこし
長崎県 長崎県立松浦高等学校 3 年 松下 彩奈	生活保護の実態

(学校賞)

埼玉県 立教新座高等学校
石川県 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校
三重県 三重県立宇治山田商業高等学校
兵庫県 西宮市立西宮高等学校
徳島県 徳島市立高等学校

③ 金融教育に関する小論文・実践報告コンクール

当委員会では、学校教育における「金融教育」の重要性が指摘される中、全国の教育関係者が、「金融教育」のあり方について、関心を高めるとともに、議論を深める契機を提供することを目的に、「金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」を実施しています。本コンクールは、全国の幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・高等専修学校の教員、教職課程在籍または教職を目指す大学生・大学院生、大学教官等の研究者を対象に、「小論文部門」、「実践報告部門」、「研究校部門」の3部門で、金融教育に関する提言、実践事例や実践計画等を募集するものです。

第13回目となる今回の応募総数は、27編でした。審査の結果、特賞1編（小論文部門）、優秀賞4編（小論文部門2編／実践報告部門2編）、奨励賞5編（小論文部門2編／実践報告部門3編）、推奨実践事例賞1編（研究校部門）を入賞作品として表彰しました。

【審査員】（敬称略）

大杉 昭英	国立教育政策研究所初等中等教育研究部長
神山 久美	山梨大学大学院准教授
河野 公子	聖徳大学大学院講師
松島 斉	東京大学大学院教授
向山 行雄	帝京大学大学院教授
井上 勝弘	NHK制作局第1制作センター経済・社会情報番組部長
鶴海 誠一	日本銀行情報サービス局長
吉國 眞一	金融広報中央委員会会長

【表彰論文】

（特賞）1編 (敬称略)

入賞者	作品名
【小論文部門】 徳島県 阿南市立富岡小学校教頭 島村 孝	将来の主権者を育てる金銭教育の展開～行事を最大限活用した「コア学習」の先行的研究～

（優秀賞）4編 (敬称略)

入賞者	作品名
【小論文部門】 宮城県 仙台青葉学院短期大学教授 小形 美樹	「キャリア教育」としての「金融教育」－大学における効果的な実施方法－

【小論文部門】 広島県 熊野町立熊野中学校教諭 池田 優子	進路指導とリンクさせる金融教育の在り方について一家計ゲームを通して主体的な選択を行う姿勢を育てるー
【実践報告部門】 東京都 東大和市立第八小学校指導教諭 野村 宏行	金融教育との関連で実現する「考え、議論する道徳」ー金融教育を多面的に広げる、道徳の大主題学習を通じてー
【実践報告部門】 山梨県 山梨学院小学校教諭 鈴木 崇	小学校中学年における「生きる力」を育成する金融教育の実践～市場体験型シミュレーションゲーム「Market Game」の開発と実践の報告～

(奨励賞) 5 編

(敬称略)

入賞者	作品名
【小論文部門】 北海道 北海道旭川商業高等学校校長 難波 繁之	2つの Tech の融合が次世代の金融教育～FinTech (Financial Technology) と EduTech (Education Technology) を両輪とした金融教育が次世代を担う子どもたちを救う～
【小論文部門】 徳島県 徳島県立鳴門高等学校教諭 坂田 雅也	金融教育の未来を開く出前授業～教員と専門家のティームティーチング～
【実践報告部門】 宮城県 栗原市立鷺沢小学校教諭 二上 洋子	職業を出発点として可能性を広げる金銭教育ー保護者、学校、出前授業を連携させてー
【実践報告部門】 埼玉県 狭山市立狭山台小学校教諭 山下 綾子	商品選択の観点を意識化し、価値観に基づく選択ができる小学校家庭科消費者教育の実践
【実践報告部門】 神奈川県 横浜市立早渕中学校教諭 佐々木 耕	体験的に学ぶ金融～物価変動体験ゲーム～

(推奨実践事例賞) 1 編

(敬称略)

入賞者	作品名
【研究校部門】 東京都 東京都教職員研修センター東京教師養成塾教授(元八王子市立第二小学校校長) 小林 巧	自ら考え、豊かに表現できる児童の育成～金融・金銭教育の視点を生かして～

(「金融教育公開授業」の開催)

「金融教育公開授業」は、金融教育の重要性について、広くかつ深く理解頂くために、学校で実施される金融教育関連の実際の授業を、教育関係者、保護

者、地域住民の方々など、数多くの方に参観頂くものです。金融・金銭教育研究校⁵を中心に、実際の授業を公開するとともに、金融教育の専門家による講演等を併せて行っています。2016年度は、全国24か所の小学校、中学校、高等学校において開催しました（詳細については、別添2をご覧ください）。

（学習指導要領の改訂に向けた取組み）

文部科学省は、2017年3月に幼稚園の教育要領および小学校・中学校の学習指導要領を公示したほか、2017年度中の高等学校の同要領の公示を予定しています。当委員会では、中央教育審議会「社会・地理歴史・公民ワーキンググループ」の委員に当委員会事務局員が初めて選出されたことから、今回の学習指導要領の改訂に関する議論に参加し、金融教育の重要性や次期学習指導要領が目指す方向性との親和性について関係者の理解を深めるよう努めました。

また、文部科学省が公表した「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」および「小学校学習指導要領案」、「中学校学習指導要領案」に対しても、当委員会として意見書をそれぞれ提出しました。

（2）「金融教育フェスタ」の開催

2016年度は、前年度開催を見送った親子向けイベント「親子のためのおかね学習フェスタ」と「先生のための金融教育セミナー」（前述）とを同時に実施する新たなイベント「金融教育フェスタ」を、広島市（2016年11月）および沖縄県宜野湾市（2017年1月）の2か所で開催しました。広島では約700名、沖縄では約500名の方々にご参加頂きました。

「親子のためのおかね学習フェスタ」では、主に小学校低・中学年を対象として、「おかねのおはなし会」（講師：いちのせかつみ氏）、「おかねの体験学習プログラム」（仕事体験、カレー作りゲーム）、「おかねの体験広場」（貯金箱作り、おかねクイズ、お札の秘密体験コーナー等）といったプログラムを実施しました（詳細については、別添3をご覧ください）。

⁵ 金融・金銭教育研究校とは、幼児・児童・生徒の発達段階に応じた金融教育ないし金銭教育の研究・実践を支援するために、各地委員会が地元の幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校に委嘱するものです。詳細については、「〔参考〕都道府県金融広報委員会を通じた活動 3. 金融・金銭教育研究校制度」を参照ください。

(3) 「金融教育プログラム」を基にした教材の整備

当委員会では、2015 年度に全面改訂した「金融教育プログラム」を基に、次期学習指導要領の方向性等を踏まえながら、今後必要となる教材について検討しました。この結果、当委員会としては、中学生の社会科および技術・家庭科（家庭分野）を対象とした教材の整備が必要と考え、次期学習指導要領を意識したアクティブ・ラーニング型の新たな教材の開発に取り組むこととしました（2017 年度中をめどに作成予定）。

(4) 「子どものくらしとお金に関する調査」結果の公表

「子どものくらしとお金に関する調査」は、当委員会が学校における金融教育の支援を行うための参考とするため、子どものお金にまつわる日常生活（おこづかい、お年玉、インターネット利用等）、お金に関する意識・行動、金融経済に関する基本的な知識等に関する情報収集を目的として、5 年毎に実施している無記名のアンケート調査です。

第 3 回となる 2015 年度調査については、2015 年 12 月～2016 年 3 月に調査を実施し、その結果を 2016 年 6 月に公表しました。同調査では、全国（全都道府県）の 290 校の小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校の協力を得て、50,149 名の児童・生徒にご参加頂きました。

また、今回の調査結果公表に合わせて、第 1 回からの調査に関する個票データの提供も開始しました。

3. 大学生向け活動

(大学における講義＜大学連携講座を除く＞の拡充)

当委員会では、大学連携講座の拡充（前述）に加え、従来から行っている当委員会独自の大学での講義についても積極的に活動を展開しました。2016 年度における開講大学数は、23 大学と前年度（17 大学）から増加しました。また、同講義の教材として使用している、当委員会作成パンフレット「大学生のための人生とお金の知恵」についても、2017 年 3 月に、これまでの講義での経験等を踏まえた改訂を行いました。



【大学生のための
人生とお金の知恵】

4. 社会人向け活動

(1) ライフステージに応じたチャンネルとコンテンツの拡充

当委員会では、これまでもライフステージ毎に必要な情報を取りまとめたパンフレット⁶を作成・配付してきましたが、2016年度は、小さな子どもを持つファミリー層を意識した新パンフレット「ママとパパのための幸せとお金の知恵」を作成（2016年10月、約3万部）し、関係先に配付しました。同冊子は、小さな子どもを持つファミリー（ママやパパ）に、家族の将来の幸せに向けた生活設計を行ってもらい、そのために必要となるお金について考えていただくための資料です。ライフイベントにかかる費用（教育費ほか）やノウハウも紹介していますので、若年社会人の方にも役立つ内容となっています。



【ママとパパのための
幸せとお金の知恵】

また、当委員会の広報誌として「くらし塾 きんゆう塾」を四半期毎に発刊しています。同誌は、幅広い層を対象に、当委員会の目指す金融教育の考え方や活動内容をわかりやすく伝えることを目的に、読者のニーズ等も踏まえながらタイムリーな記事の掲載に努めています。

【2016年度の構成】

種類	構成内容
金融知識等の解説	<p>【家計管理・生活設計のツボ】 「子どもと電子マネー」、「出産・育児にかかるお金」、「確定申告で、納め過ぎた税金の還付を受けよう」、「新婚のときに考えたい夫婦でお金のこと」</p> <p>【まんが わたしはダマサレナイ！！】 「アフィリエイトやドロップシッピング内職に関するトラブル」、「デート商法による悪質な投資用マンション販売」、「実態不明のレンタル事業契約トラブル」、「ワンクリック請求・架空請求の被害救済をうたう悪質な相談窓口にご注意！」</p>

⁶ これまで作成したパンフレットとしては、「大人のためのお金と生活の知恵」、「大学生のための人生とお金の知恵」、「新成人のための人生とお金の知恵」があります。

	<p>【そこが知りたい！くらしの金融知識】 「税制を知ってうまく残そう 財産承継のポイント」、「投資信託の基本の『キ』」、「『個人型確定拠出年金（iDeCo）ってなあに？」、「ライフスタイル別・個人型確定拠出年金（iDeCo）の使いこなし方」</p> <p>【金融広報アドバイザーの誌上セミナー】 「イライラ解消で『お金と上手に付き合う』」、「知ってますか？『ねんきん定期便』」、「考えてみよう『自分の葬儀』」、「今、家庭で必要な金銭教育」</p>
金融教育の 実践事例紹介	【金融教育の現場レポート】
生活やお金 に関する話題	<p>【巻頭インタビュー】（生きる力を考える内容等）</p> <p>【連載エッセイ】「十人十色 適材適所 性別不問」</p> <p>【街道 その歴史と役割】 「石見銀山街道」、「昆布ロード」、「千国街道～塩の道」、「絹の道」</p>
当委員会の 活動を紹介 する記事	<p>【なるほど知るぼると】 「『金融教育プログラム』を全面改訂しました。」、「『金融リテラシー調査』の結果をご紹介します！」、「新パンフレット『ママとパパのための 幸せとお金の知恵』のご紹介」、「中学生・高校生を対象とする作文・小論文コンクールの審査結果」</p> <p>【金融教育の輪】</p> <p>【まなびや訪問】（金融・金銭教育研究校の紹介） 「佐賀県立鳥栖商業高等学校」、「茨城県結城市立江川北小学校」、「兵庫県神戸市立東須磨小学校」、「新潟県小千谷市立小千谷中学校」</p>

（２）「家計の金融行動に関する世論調査」結果の公表

「家計の金融行動に関する世論調査」は、当委員会が、家計の資産・負債や家計設計等の状況を把握し、これらの公表を通じて、①金融知識を身に付けることの大切さを広報すること、②家計行動分析のための調査データを提供すること、の２点を目的として毎年実施しているものです。

2016年度の二人以上世帯調査は、全国の二人以上世帯 8,000世帯を対象に標本抽出し、熊本地震の被災地域 12 調査地点（192 世帯に相当）を除いて調査した結果、44.8%の世帯（3,497 世帯）から回答を得ました。また、単身世帯調査については、インターネット調査により 2,500 モニターを対象に行いました（概要については、別添 4 をご覧ください）。

今回の調査では、質問項目の一部を見直し、「金融資産を保有していない」との回答者に対して、「預貯金等の口座の有無とその残高」に関する質問を追加しました。

(3) 「金融リテラシー調査」結果の公表

「金融リテラシー調査」は、18歳以上の個人の金融リテラシーの現状把握を目的とする、わが国初の大規模調査です。設問は、「金融リテラシー・マップ」の8分野に係る「金融知識・判断力」に関する正誤問題と「行動特性・考え方等」に関する問題から構成されています。

今回の調査は、2016年2月～3月に、わが国の人口構成とほぼ同じ割合で収集した18～79歳の25,000人のモニターを対象に、インターネットによる調査を実施しました。調査結果は2016年6月に公表し、同10月には英語版も公表しました。本調査の分析結果については、生活経済学会、日本FP学会、行動経済学会等において報告を行いました。

また、本調査に関する個票データの提供も、上記公表に合わせて開始しました。

Ⅲ 都道府県金融広報委員会向けサポートの強化

1. 「金融・経済講演会」への講師の紹介・派遣等

当委員会では、各地委員会が開催する「金融・経済講演会」に対して、講師の紹介・派遣等を通じた支援・サポートを行っています。講師陣は、弁護士、公認会計士、ファイナンシャル・プランナー、大学教員、ジャーナリスト、作家など、多岐に亘っており、金融経済情勢、金融取引実務、ライフプラン、税・年金、金融トラブル・詐欺防止等をテーマとした講演会を全国各地で開催しています（主な「金融・経済講演会」の開催状況については、別添 5 をご覧ください）。

2. 情報・ノウハウ共有、スキルアップ支援等

当委員会と各地委員会は、相互の活動・運営状況等について情報共有と意見交換等を行い、効果的な金融広報活動の展開に努めています。2016 年度においても、各地委員会の事務局長・事務局員、金融広報アドバイザーに対して、「事務局長・責任者会議」、「事務局員会議」、「金融広報アドバイザー研修会」を例年通り開催しました。

また、当委員会事務局員が各地委員会開催の金融広報アドバイザー協議会等に参加し、金融教育を巡る最新の動向等について情報を提供するとともに、各地での有益な取組み事例の紹介、地元教育委員会等とのネットワークの構築など、様々なサポートを引き続き行いました。

（1）活動事例の共有

当委員会では、各地委員会で行われている優良な取組み事例等について収集し、当委員会主催の研修会や各種媒体を活用し、全国の委員会に提供したほか、各地で開催される研修会等への出張講座を行うなど実践的ノウハウの共有に努めました。

（2）教育ノウハウの向上

金融広報アドバイザー研修会では、iDeCo（個人型確定拠出年金制度）に関する外部専門家の講演をプログラムに盛り込むなど、アドバイザーによる講義の質的向上を意識した内容の充実を図りました。

また、2016年1月に新設した金融広報アドバイザーの広域派遣制度については、2016年度入り後、本格的に活用され始めました。高いノウハウ・豊富な経験を持つ金融広報アドバイザーを他の委員会に派遣し、現地のアドバイザーにその手法等を伝授することで、金融広報アドバイザー全体のスキルアップを図ることを目指しています。

(3) 各種活動の効果的かつ効率的な運用

当委員会では、各地委員会等との情報共有インフラとして、更なる機能向上を図る観点から、当委員会と各地委員会を結ぶ「事務局ネット・システム」の機能改善を実施しました（2016年6月から利用開始）。

この間、各地委員会主催の親子向けイベントに、当委員会による外部講師の紹介や体験グッズ等の貸出等を実施しました。更に、マイナンバー制度に対応するため、規程の雛形作成、システムメンテ、FAQの提供等を通じ、各地委員会をサポートしたほか、当委員会広報誌「くらし塾 きんゆう塾」（四半期毎に発刊）の外部配送事務の本部集中化に取り組み、各地委員会の事務負担軽減を図りました。

以 上

〔参考〕 都道府県金融広報委員会を通じた活動

1. 金融広報アドバイザー制度

金融広報アドバイザー制度とは、地域の方々に対し、中立公正な立場から、客観的で正確な金融関連知識を直接提供するために、各地委員会が金融経済に関する有識者等を金融広報アドバイザーとして選任し、当委員会が委嘱する制度です。各地委員会で選任・委嘱されている金融広報アドバイザーは、2016年度末時点で486名です。金融広報アドバイザーは、金融・経済の仕組み、資産形成、生活設計、金融商品の概要、年金、保険、金融トラブル、金融・金銭教育等をテーマにした講演会や講座・講習会の講師をはじめとする広報活動で活躍しています。

なお、当委員会では、金融広報アドバイザーの活動に関する情報や資料を各地委員会に提供するなどの支援を行っています。

2. 金融学習グループ制度

金融学習グループ制度とは、金融経済知識の習得のために自主的かつ意欲的に学習活動に取り組むグループに対して、各地委員会が活動目的、学習内容を吟味したうえで、原則として1年間（活動実績等を踏まえて2回まで延長可）、「金融学習グループ」として認定し、金融広報アドバイザーの派遣や活動資金の一部援助等を行う制度です。2016年度末時点では、全国で25先が金融学習グループとして認定され、金融経済の基礎知識、金融商品の仕組み、ライフプランの立て方、年金・税金・保険の仕組み、子どもへの金銭教育等をテーマに学習活動が行われています。

なお、当委員会では、各地委員会が行う金融学習グループへの資金的援助を行っています。

3. 金融・金銭教育研究校制度

金融教育研究校あるいは金銭教育研究校（以下「研究校」という。）制度とは、学校や幼稚園において、金融や金銭に関する具体的な教育を実践し、その効果的な方法を研究して頂くことを目的に、各地委員会が幼稚園、保育所、認定こども園または学校を1年ないし2年間、研究校として委嘱するものです。高等学校、中学校、小学校等において、金融・経済に関する正しい知識の習得に力点を置くものを「金融教育研究校」、中学校、小学校、幼稚園等において、金銭や物に対する健全な価値観の養成に力点を置くものを「金銭教育研究校」とし

て委嘱しています。当委員会および各地委員会では、研究校に対して、カリキュラムの作成や金融広報アドバイザーを含む講師の派遣、授業で用いる教材・資料等の提供、授業を進めるうえでの各種技術指導等の支援を行っているほか、研究・実践に必要な費用の一部を補助しています。

2016年度末時点では、全国40都道府県で計119校が研究校として委嘱され、その成果等に関する情報については、各地委員会によって開催される金融・金銭教育協議会や金融教育公開授業における発表等を通じて共有され、活動内容の向上に役立てられています。

(参考) 研究校の委嘱状況

	高等学校等	中高一貫	中学校	小中併置校	小学校	幼稚園・保育園
金融教育研究校	40	1	20	0	13	0
金銭教育研究校	1	0	6	0	33	5

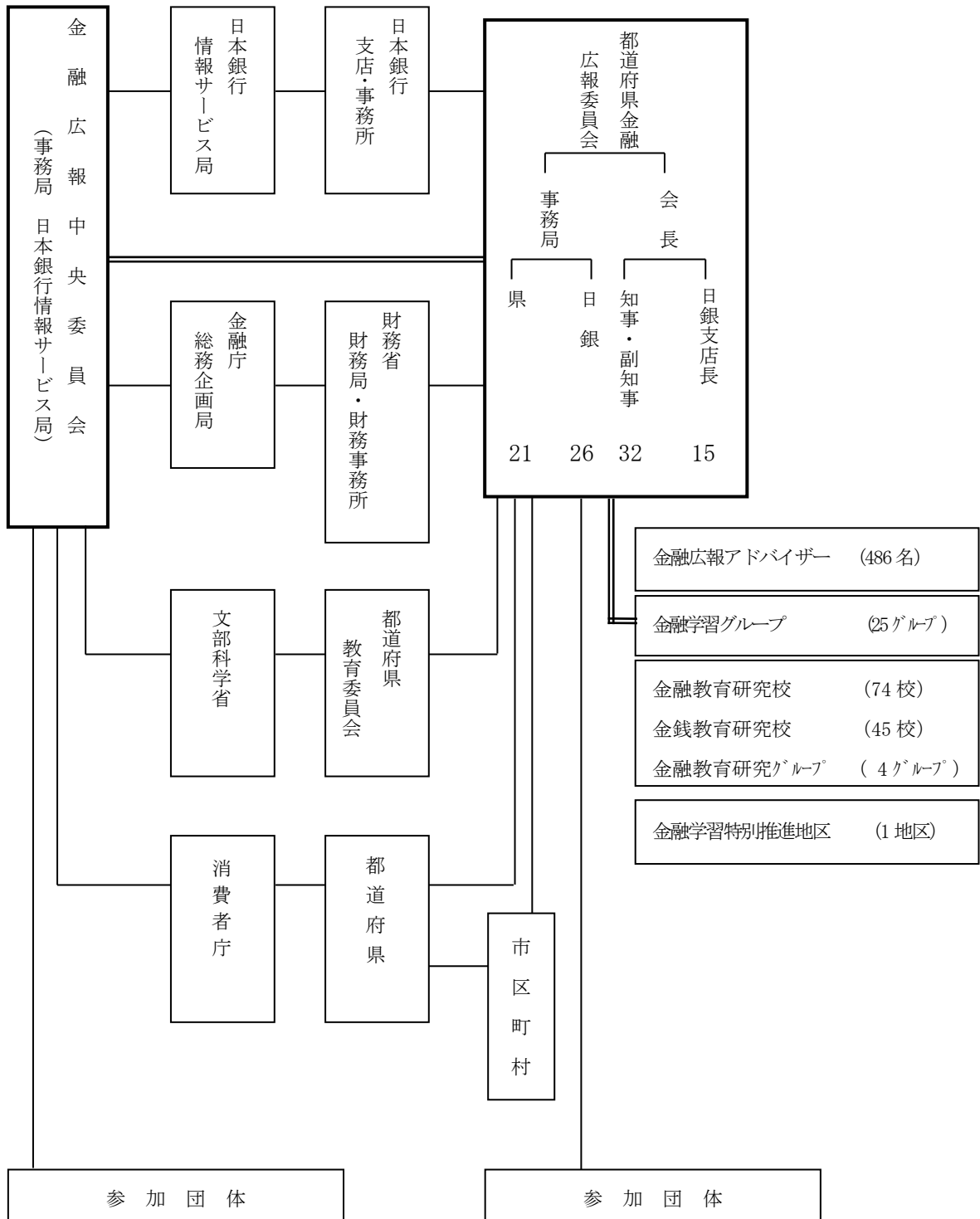
4. 金融教育研究グループ制度

金融教育研究グループ制度とは、主として高等学校、中学校において公民科、家庭科、商業科や総合的な学習の時間等を担当する教員が、学校横断的な研究会・グループ等により、金融教育の実践・研究活動を行う際、金融教育研究校に準じて研究を委嘱し、当委員会および各地委員会が、ノウハウや活動資金の一部を援助する制度です。2016年度末時点で全国4県において4グループが金融教育研究活動に取り組んでいます。当委員会および各地委員会では、この制度を通じ、実際に教育現場を担っておられる先生方に金融教育への理解を深めて頂くとともに、より効果的な授業が幅広く行われるように支援しています。

5. 金融学習特別推進地区制度

金融学習特別推進地区（以下「特区」という。）制度とは、市区町村またはその中の一定地域が、各地委員会および当委員会と一体となって、地域ぐるみ（住民、学校、PTA、各種団体等）で継続的な金融学習への取組みを推進することを目的に、2004年度に設けられた制度です。同制度の委嘱は各地委員会が行い、委嘱期間は原則として2年間です。2016年度における特区の委嘱は1地区（東京）でした。

(資料) 金融広報中央委員会活動の相互連携図



<2017年3月31日現在>

2016 年度「先生のための金融教育セミナー」の概要

1. 2016 年度「先生のための金融教育セミナー」(2016 年 8 月、東京)

(敬称略)

開催日時	【高等学校・大学向け】2016 年 8 月 10 日(水) 9:30~16:10 【小学校・中学校向け】2016 年 8 月 18 日(木) 9:30~16:10
開催場所	日本教育会館(東京都千代田区)
主催・ 後援	主催:金融広報中央委員会 後援:文部科学省、金融庁、消費者庁、東京都教育委員会、全国公民科・社会科教育研究会、全国家庭科教育協会、日本消費者教育学会、経済教育ネットワーク、日本銀行
募集対象	対象:全国の小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・高等専修学校・特別支援学校(学級)・大学の教員、教育委員会指導主事および教職を目指す大学生・大学院生 参加者:約 220 名

【高等学校・大学向けの内容(8月10日<水>)】

(敬称略)

1. 来賓挨拶	梶山 正司(文部科学省初等中等教育局 主任視学官) <概要>中央教育審議会において検討している次期学習指導要領改訂のポイント等についてお話し頂きました。
2. パネルディスカッション	<テーマ>「社会に開かれた教育課程と金融教育」 <パネリスト> 大杉 昭英(国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長) 篠田 健一郎(東京都立西高等学校 指導教諭) 仲田 郁子(千葉県立流山おおたかの森高等学校 教諭) 松島 斉(東京大学大学院経済学研究科 教授) <コーディネーター>鶴海 誠一(金融広報中央委員会 事務局長) <概要>パネリストより、新しい学習指導要領の目指す「社会に開かれた教育課程」の姿、これからの学校教育に期待される役割、アクティブ・ラーニングの意義、『金融教育プログラム』を活用する際のポイント等について、ご発言頂きました。
3. DVD上映 (昼食休憩時)	当委員会のDVD「見てわかる!金融教育 - 授業の進め方」を各分科会会場で上映しました。
4. 分科会	金融教育に取り組まれている先生方に、高等学校・大学の分科会で、実践事例の発表とワークショップの指導を行って頂きました。 《高等学校分科会1》 進行・コメント:大杉 昭英(国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長) (1)「経済の変化をとらえる方法を学び、日本経済の現実を知る ~現実の経済社会を知り、経済活動のあり方を考える手立てとする~」 講師 篠田 健一郎(東京都立西高等学校 指導教諭)

	<p>(2)「人生の『リスク』に対するセーフティネット！～幸福をシェアする『社会保障制度』について考えよう～」 講師 梶ヶ谷 穰（昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師）</p> <p>《高等学校分科会2》</p> <p>進行・コメント：高橋 ヨシ子（前 実践女子大学 教授）</p> <p>(1)「ライフプランを立ててみよう～自立した社会人になるために～」 講師 高橋 靖子（東京都立忍岡高等学校 主幹教諭）</p> <p>(2)「社会保障制度を踏まえて生涯にわたる生活資源マネジメントについて考えてみよう～『人生すごろく』から始まる生活設計の授業～」 講師 仲田 郁子（千葉県立流山おおたかの森高等学校 教諭）</p> <p>《高等学校分科会3》</p> <p>進行・コメント：谷内 祥訓（富山県総合教育センター企画調整部 企画課長）</p> <p>(1)「簿記で磨け！『投資センス』」 講師 勝山 光仁（神奈川県立小田原総合ビジネス高等学校 教諭）</p> <p>(2)「『リスクとコスト』から考えるキャリア教育の在り方」 講師 福田 修一（千葉県立泉高等学校<元 千葉県立柏井高等学校> 教諭）</p> <p>《大学分科会》</p> <p>進行・コメント：松島 斉（東京大学大学院経済学研究科 教授）</p> <p>(1)「連携講座『金融と生活設計』開講の取り組み」 講師 亀坂 安紀子（青山学院大学 教授）</p> <p>(2)「教員養成課程における金融教育」 講師 小関 禮子（前 帝京大学大学院教職研究科 教授）</p>
--	--

【小学校・中学校向けの内容（8月18日<木>）】

（敬称略）

1. 来賓挨拶	<p>金城 太一（文部科学省初等中等教育局 教育課程課課長補佐 ＜合田 哲雄 教育課程課長代理＞）</p> <p>＜概要＞中央教育審議会において検討している次期学習指導要領改訂のポイント等についてお話し頂きました。</p>
2. パネルディスカッション	<p>＜テーマ＞「社会に開かれた教育課程と金融教育」</p> <p>＜パネリスト＞</p> <p>大杉 昭英（国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長） 小林 巧（東京都教職員研修センター東京教師養成塾 教授） 曾我部 多美（東京都東村山市立回田小学校 校長） 三枝 利多（東京都目黒区立東山中学校 教諭）</p> <p>＜コーディネーター＞鶴海 誠一（金融広報中央委員会 事務局長）</p> <p>＜概要＞パネリストより、新しい学習指導要領の目指す「社会に開かれた教育課程」の姿、これからの学校教育に期待される役割、アクティブ・ラーニングの意義・実践方法、『金融教育プログラム』を活用する際のポイント等について、ご発言頂きました。</p>

3. DVD上映 (昼食休憩時)	当委員会のDVD「見てわかる！金融教育－授業の進め方」を各分科会 会場で上映しました。
4. 分科会	<p>金融教育に取り組まれている先生方に、小学校・中学校の分科会で、実践事例の発表とワークショップの指導を行って頂きました。</p> <p>《小学校分科会1》 進行・コメント：北 俊夫（国士舘大学 教授） （1）「郷土をひらく～八王子織物と多摩地域の発展～」 講師 小林 巧（東京都教職員研修センター 東京教師養成塾 教授） 田邊 きよみ（東京都八王子市立第二小学校 主幹教諭） 峯岸 正光（東京都青梅市立霞台小学校 主任教諭） （2）「キャベツから学ぶ」 講師 室伏 由梨（山梨県鳴沢村立鳴沢小学校 教諭）</p> <p>《小学校分科会2》 進行・コメント：曾我部 多美（東京都東村山市立回田小学校 校長） （1）「プリペイドカードについて考えよう～現代社会に適切に対応し、たくましく生きる児童の育成へ～」 講師 福留 潮（東京都目黒区立駒場小学校 校長） 横尾 昌子（東京都目黒区立駒場小学校 教諭） （2）「くふうしよう たのしい食事」 講師 小西 徹（佐賀県小城市立岩松小学校 教諭）</p> <p>《中学校分科会1》 進行・コメント：大杉 昭英（国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長） （1）「消費生活とカード社会～協調学習を通して～」 講師 河野 睦（福岡県飯塚市立二瀬中学校 教諭） （2）「職場見学と職場体験学習を中心としたキャリア教育」 講師 岡下 朋平（香川県土庄町立豊島中学校 校長）</p> <p>《中学校分科会2》 進行・コメント：望月 昌代（文部科学省初等中等教育局 視学官） （1）「買い物アドバイザーになろう～カメラの選択・購入を検討しよう～」 講師 合田 紅花（鳴門教育大学附属中学校 教諭） 吉兼 悠子（徳島県吉野川市立山川中学校 教諭） （2）「持続可能な社会の実現をめざすための消費者市民教育～あずま袋の製作と販売～」 講師 西村 朱美（三重県伊勢市立北浜中学校 教頭）</p>

2. 「金融教育フェスタ 2016」・「先生のための金融教育セミナー」
(2016年11月・広島、2017年1月・沖縄)

(敬称略)

開催日時	【広島】2016年11月26日(土) 10:10~16:55 【沖縄】2017年1月14日(土) 10:10~16:55
開催場所	【広島】広島国際会議場(広島県広島市) 【沖縄】沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)
主催・後援	【広島】 主催：金融広報中央委員会、広島県金融広報委員会 後援：文部科学省、金融庁、消費者庁、日本銀行、日本PTA全国協議会、広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島県連合小学校長会、広島県公立中学校長会、広島県公立高等学校長協会 【沖縄】 主催：金融広報中央委員会、沖縄県金融広報委員会 後援：文部科学省、金融庁、消費者庁、日本銀行、日本PTA全国協議会、沖縄県、那覇市、宜野湾市、沖縄県教育委員会、那覇市教育委員会、宜野湾市教育委員会、沖縄県小学校長会、沖縄県中学校長会、沖縄県高等学校長協会
募集対象	対象：小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・高等専修学校・特別支援学校(学級)・大学の教員、教育委員会指導主事および教職を目指す大学生・大学院生 参加者：【広島】32名、【沖縄】26名
内 容	1. 基調講演 <テーマ>「これからの金融教育について～次期学習指導要領改訂の視点～」 <講師>大杉 昭英(国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長) <概要>次期学習指導要領で求められている資質・能力と金融教育との関係等についてお話し頂きました。 2. 実践発表・ワークショップ1 進行・コメント：大杉 昭英(国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長) <テーマ>「我ら、アイディアマン！よりよく考え、判断し、行動する子の育成～金融教育から～」 <講師> 曾我部 多美(東京都東村山市立回田小学校 校長) 塚本 哲(東京都目黒区立駒場小学校 主任教諭) 3. 実践発表・ワークショップ2 進行・コメント：大杉 昭英(国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長) <テーマ>「模擬授業で体験～レシートで金融教育～」 <講師> 山崎 二郎(千葉市教育委員会) 4. 実践発表・ワークショップ3 進行・コメント：大杉 昭英(国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長) <テーマ>「人生の『リスク』に対するセーフティネット」 <講師> 梶ヶ谷 穰(昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師<元 神奈川県立海老名高等学校 教諭>)

2016 年度「金融教育公開授業」の概要

(敬称略)

開催日	開催校名	事業名	授業／講演内容等
2016 年 9月28日 (金)	香川県 綾川町立 陶小学校	公開授業	「ひろがれ えがお ～かぞくのえがお だいさくせん～」 (1年松組 生活科) 「みんな かぞく ～さやかさんのおにぎりづくり～」 (1年竹組 道徳) 「じぶんで できる しごと ～おふろばそうじ～」 (2年松組 道徳) 「はたらく よさ ～さつまいもばたけ～」 (2年竹組 道徳) 「店ではたらく人」 (3年松・竹組 社会科) 「ごみのしよりと利用」 (4年松組 社会科) 「家族のために ～パン屋の仕事～」 (4年竹組 道徳) 「めざそう買い物名人」 (5年松・竹組 家庭科) 「まかせてね 今日の食事」 (6年松組 家庭科) 「働く喜び ～土に生きる母～」 (6年竹組 道徳)
		研究発表	「主体的に判断し豊かに表現する子どもの育成」
		講演	「くらしとおかねのお役立ちヒント～日米の生活体験を通して～」 (ダニエル・カール<翻訳家、タレント、山形弁研究家>)
		金銭教育 協議会	教育関係者による協議
10月4日 (火)	北海道 札幌市立 東光小学校	公開授業	「私たちの入っている保険って？」 (6年生 学級活動)
		講演	「賢いお金の使い方と生かし方って？」 (いちのせかつみ <ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト>)
10月7日 (金)	三重県 伊賀市立 新居小学校	研究概要報告	「聴き合い、学び合い、仲間とともに高まり合う子ども～人やもの、お金を大切にする子ども～」
		公開授業	「はじめてのおつかい」 (1年生 算数科) 「夢の300円」 (2年生 算数科) 「計算の相性」 (3年生 算数科) 「割引の損得 ～どちらを選ぶ？～」 (4年生 算数科) 「今日の夕食は焼き肉!!」 (5年生 算数科) 「かしこい選択」 (6年生 算数科) 「店をひらこう」 (たんぼぼ学級 生活単元学習)
		講演	「社会で活躍するために～子どもたちへのメッセージ～」 (住田裕子<弁護士>)
		研究協議	低学年、中学年・たんぼぼ、高学年別研究協議

開催日	開催校名	事業名	授業／講演内容等
10月14日 (金)	兵庫県 神戸市立 東須磨小学校	公開授業	「みんな大すき お手つだい大きくせん」(1年生 生活科) 「つくろう みんなであそぼう」(2年生 生活科) 「見直そう わたしたちの買い物」(3年生 社会科) 「くらしとごみ」(4年生 社会科) 「学級討論会をしよう～お小遣いは必要か～」(5年生 学級活動) 「修学旅行で買い物名人」(6年生 家庭科) 「なかよしカフェをひらこうーパート2ー」(特別支援学級生活単元)
		ワーク ショップ	『カレー作りゲーム』で世界をのぞいてみよう！(5年生) 『中学生のアイテム選び』に挑戦しよう！(6年生) (あんびるえつこく生活経済ジャーナリスト、「子供のお金教育を考える会」代表)
10月14日 (金)	島根県 津和野町立 津和野中学校	公開授業	「家計シミュレーションを通して収支について考えよう」 (3年生 社会科<公民>)
		講演	「日米のディズニーで教わった感動のサービス」 (加賀屋克美<(有)加賀屋感動ストアーマネージメント 代表取締役>)
10月18日 (火)	山形県立 村山産業 高等学校	公開授業	「商品の開発と財務計画」(3年生 商品開発)
		講演	「日米のディズニーで教わった感動のサービス」 (加賀屋克美<(有)加賀屋感動ストアーマネージメント 代表取締役>)
10月19日 (水)	宮城県 宮城広瀬 高等学校	研究発表	「金融を取り巻く現状を理解し、経済主体の一員として、自ら考え行動できる生徒の育成」
		公開授業	「金融機関と市場とのかかわり わたしたちの生活への影響を考える」(3年生 政治経済) 「ライフステージと経済計画 豊かな人生を送るために」 (2年生 家庭基礎) 「金融をとりまくパーソナルファイナンス『お金を借りる、将来に備える』について考える」(3年生 ビジネス基礎)
		講演	「さおだけ屋はなぜ潰れないのか？ ～明日から使える高校生会計学～」 (山田 真哉<公認会計士・税理士>)

開催日	開催校名	事業名	授業／講演内容等
10月19日 (水)	福岡県 中間市立 中間中学校	公開授業	「POWER-UP(10) Speaking 買い物(1) (T シャツを買う)」 (1年生 英語科) 「より良い消費生活のために」(2年生 技術・家庭科<家庭分野>) 「どんな場面でも気持ちよく買い物ができるようになるろう」(特別支援学級 自立活動)
		研究発表	「自ら意欲的に学ぶ生徒の育成～授業における導入の工夫と言語活動の充実を通して～」
		講演	「自立した大人に育てる5つのポイント」 (あんびるえつこ<生活経済ジャーナリスト、「子供のお金教育を考える会」代表>)
10月28日 (金)	福岡県 福岡市立 福浜小学校	公開授業	「“あおぞらショップ”をひらこう」(あおぞら学級 生活単元) 「たいせつにつかおう ものやおかね」(1年生 学級活動) 「めざせ！ お買い物名人」(2年生 学級活動) 「いちご作りについて調べよう」(3年生 社会科) 「ほしかった望遠鏡」(4年生 道徳) 「じょうずに使おう ものやお金」(5年生 家庭科) 「学級討論会をしよう“お小遣いは必要か?”」(6年生 国語科)
		講演	「子どもを取り巻く金融トラブル」 (住田裕子<弁護士>)
11月2日 (水)	大分県立 由布高等学校	公開授業	「卒業のための経済学」(3年生 商業科)
		講演	「オラの日米おもしろお金講座」 (ダニエル・カール<翻訳家、タレント、山形弁研究家>)
11月4日 (金)	北海道 札幌市立 真栄中学校	公開授業	「労働の意義と労働者の権利」(3年生 社会科)
		講演	「経済の視点から見る選択」 (大竹文雄<大阪大学社会経済研究所教授>)
11月10日 (木)	新潟県 小千谷市立 小千谷中学校	実践発表	「社会の中で生きる力を育む金融教育の推進」
		公開授業	「賢い消費者になるために」(3年生 社会科)
		講演	「これからの社会で活躍する若者世代へのメッセージ」 (住田裕子<弁護士>)

開催日	開催校名	事業名	授業／講演内容等
11月11日 (金)	福岡県 みやこ町立 城井小学校	公開授業	「手づくりおもちゃのおみせやさん」(1・2年生 生活科) 「はらい川で、町おこし」(3・4年生 総合的な学習の時間) 「買い物の仕方を考えよう」(5・6年生 家庭科)
		研究発表	「ものやお金を大切にし、よりよい社会をめざす子どもの育成」
		講演	「子どもの生きる力を育む～脚本家の視点から～」 (大森美香<脚本家>)
11月11日 (金) 12月19日 (金)	長崎県 長崎市立 小島中学校	講演 (11月11日)	「日米のディズニーで学んだ感動のサービス」 (加賀屋克美<(有)加賀屋感動ストアーマネージメント 代表取締役>)
		公開授業 (12月19日)	「生活情報の活用～メディアリテラシーを身に付けよう～」(2年生 家庭科)
		研究協議会 (12月19日)	教育関係者による協議
11月13日 (日)	大阪府 貝塚市立 木島小学校	公開授業	「物やお金を大切にしよう」(1年生 道徳) 「よく考えて行動し、節度ある生活をしよう」(3年生 道徳) 「見つめよう。わたしたちのくらしとお金の使い方」(5年生 総合的な学習の時間)
		講演	「欲しいものと必要なもの」 (いちのせかつみ <ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト>)
11月18日 (金)	茨城県 結城市立 江川北小学校	公開授業	「でんシマネーでおみやげをかおう」(1年生 算数科) 「じぶんたちで作ったしょうひんのねだんはいくら？」(2年生 生活科) 「よく考えて行動しよう ーほしいものとひつようなものー」 (3年生 道徳) 「ごみダイエットすごろくをつくって考えよう」(4年生 社会科) 「めざせ！お金はかせーあなたは電子マネー派、現金派？ー」 (5年生 総合的な学習の時間) 「あなたは将来、どんな働き方をしたい？」(6年生 学級活動) 「バザーをしようーつくったさくひんをはんばいしようー」 (特別支援学級 自立活動)
		研究発表	「主体的に思考・判断し、表現できる金銭教育」
		講演	「日本とアメリカの違いから学ぶ賢い消費者のみち」 (ダニエル・カール<翻訳家、タレント、山形弁研究者>)

開催日	開催校名	事業名	授業／講演内容等
11月22日 (水)	岡山県 玉野市立 玉野商業 高等学校	公開授業	「資産運用に関するシミュレーション」(1年生 情報処理) 「業種別財務諸表分析」(2年生 財務会計Ⅰ) 「高校生の消費実態」(3年生 マーケティング)
		講演	「さおだけ屋はなぜ潰れないのか? ~明日から使える高校生会計学~」 (山田真哉<公認会計士・税理士>)
11月30日 (水)	千葉県立 銚子商業 高等学校	公開授業	「身近な金融問題に関する実践発表」(3年生 課題研究)
		講演	「今から始める将来設計と資産運用について」 (山田 真哉<公認会計士・税理士>)
11月30日 (水)	山梨県 甲府市立 中道南小学校	公開授業	「買い物マスターへの挑戦」(5年生 家庭科) 「自分の夢に向かって~働くということ~」(6年生 総合的な学習の時間)
		研究発表	「共に生きる力を身につけた子どもの育成~キャリア教育の実践を通して~」
		講演	「学校・家庭で教える“お金教育とは”~キャリア教育の観点から~」 (あんびるえつこ<生活経済ジャーナリスト、「子供のお金教育を考える会」代表>)
12月2日 (金)	和歌山県 紀の川市立 竜門小学校	公開授業	「考えよう!『お金』」(5年生 総合的な学習の時間) 「中学進学 いくらかかるの?」(6年生 総合的な学習の時間)
		研究発表	「自ら学ぶ子、みんなで学ぶ子の育成を目指して~人・ものとの関わりの中で育てる健全な金銭感覚~」
		講演	「未来を託す子どものために ~今、金銭教育が必要なワケ~」 (いちのせかつみ <ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト>)
12月4日 (日)	群馬県 上野村立 上野小学校	公開授業	「おれたクレヨン」(1年生 道徳) 「自分の夢について考えよう」(6年生 総合的な学習の時間)
		講演	「オラの日米おもしろお金講座」 (ダニエル・カール<翻訳家、タレント、山形弁研究者>)

開催日	開催校名	事業名	授業／講演内容等
12月7日 (水)	秋田県 五城目町立 五城目小学校	公開授業	「おみせやさんごっこをしよう」(1年生 生活科) 「冬休みのくらし方」(2年生 学級活動) 「五城目町のひみつをさがれ」(3年生 総合的な学習の時間) 「お母さんのせいきゅう書」(4年生 道徳の時間) 「じょうずに使おう お金と物」(5年生 家庭科) 「算数のまとめ」(6年生 算数科) 「そばや『あさひ庵』をひらこう」(あさひ学級 生活単元学習)
		講演	「日本とアメリカの違いから学ぶ消費者へのみち」 (ダニエル・カール<翻訳家、タレント、山形弁研究者>)
12月15日 (水)	東京都立 府中東 高等学校	公開授業	「自身の選択と社会貢献～新科目『公共』を見据えて～」 (3年生 政治・経済)
		研究協議	「当校における金融教育の取り組みについて」
2017年 2月1日 (水)	宮崎県 小林市立 南小学校	公開授業	「ものを大切に ～ランドセルは十二さい～」(1年生 道徳) 「えんそくのおやつを買おうⅡ (買う前の準備編)」(2年生 学級活動) 「買い物の仕方を考えよう ～クッキングパーティーの材料を選ぼう～」(3年生 学級活動) 「お金の使い方」(4年生 総合的な学習の時間 こすもす科) 「じょうずに使おう お金と物」(5年生 家庭科) 「ライフ・夢プラン」(6年生 総合的な学習の時間 こすもす科)
		講演	「くらしとおかねのお役立ちヒント ～日米の生活体験を通して～」 (ダニエル・カール<翻訳家、タレント、山形弁研究者>)

「金融教育フェスタ 2016」・「親子のためのおかね学習フェスタ」の概要

(敬称略)

開催日時	<p>【広島】2016年11月26日(土) 10:00～17:00 【沖縄】2017年1月14日(土) 10:00～17:00</p>
開催場所	<p>【広島】広島国際会議場(広島県広島市) 【沖縄】沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)</p>
主催・後援	<p>【広島】 主催：金融広報中央委員会、広島県金融広報委員会 後援：文部科学省、金融庁、消費者庁、日本銀行、日本PTA全国協議会、広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島県連合小学校長会、広島県公立中学校長会、広島県公立高等学校長協会</p> <p>【沖縄】 主催：金融広報中央委員会、沖縄県金融広報委員会 後援：文部科学省、金融庁、消費者庁、日本銀行、日本PTA全国協議会、沖縄県、那覇市、宜野湾市、沖縄県教育委員会、那覇市教育委員会、宜野湾市教育委員会、沖縄県小学校長会、沖縄県中学校長会、沖縄県高等学校長協会</p>
内 容	<p>1. おかねのおはなし会 <演題> 「お・か・ねってナニ? ほしいモノとひつようなモノ」 <講師> いちのせかつみ (FP/生活経済ジャーナリスト)</p> <p>2. おかねの体験学習プログラム (1) 仕事体験 参加した子どもたちは、中央銀行の見習い職員として、グループごとに貨幣マスを使ったコインの選別と、模擬銀行券を使ったお札の数え方、偽札さがしを体験し、働いた報酬としてお給料(模擬貨幣)を受け取りました。</p> <p>(2) カレー作りゲーム(考案 あんびる えつこ氏) 仕事体験で得たお給料で、家族のためにカレーの材料を買うというゲームに取組みました。食材の値段を考えながらリストを作成して買い物に挑戦し、限られた予算の中でのおかねの「使い方」を学習しました。最後に、子どもたちに「おかねの体験学習プログラム認定証」を贈呈しました。</p> <p>3. おかねの体験広場 (1) 貯金箱作り 知るぼるとのキャラクターが描かれた「自動車」型、「新幹線」型、「はしご車」型の特製貯金箱に、好きな色を塗って組み立てました。</p> <p>(2) おかねクイズ 会場内のヒントパネルを手がかりに、スタンプラリーを楽しみながら、おかねに関する質問に答えるクイズに挑戦しました。</p>

(3) お札の秘密体験コーナー

マイクロスコープやブラックライトで見ることで、お札に用いられている特殊印刷などの最新技術を知って頂きました。

(4) おかねについて学ぶコーナー

小判五十両包み、フェイ（石貨）など珍しい貨幣や金塊のレプリカを展示。千両箱の思いもよらぬ重さに驚くなど、体験を通じて、おかねのことを学びました。

(5) 模擬一億円パック重さ体験コーナー

100万円の束100個に相当する大きな「かたまり」に、力自慢をかねて、家族でその重さと大きさを体験して頂きました。

(6) 写真撮影コーナー

一万円札の顔出しパネルと、知るぼるとキャラクターの「矢口ファミリー」が勢ぞろいした立体パネルの2点を用意し、それぞれのポーズで記念撮影をお楽しみ頂きました。

4. 資料コーナー

主催者ならびに協力団体の金融知識や金融教育に関する資料を提供しました。

5. 知るぼるとホームページ閲覧コーナー

おかねに関するさまざまな情報を提供している知るぼるとホームページを自由にご覧頂きました。

「家計の金融行動に関する世論調査」の概要 (2016 年度)

1. 二人以上世帯調査

調査の内容	<p>(主な調査項目)</p> <p>(1) 金融資産の状況等 金融資産の有無、金融資産保有額、内訳等</p> <p>(2) 金融負債の状況等 借入金の有無、借入金残高、借入の目的等</p> <p>(3) 実物資産・住居計画 住居の状況、住宅取得必要資金、この1年以内の土地・住宅の取得、増改築、売却の有無等</p> <p>(4) 生活設計 (老後、消費含む) 家計全体のバランス、過去1年間の家計運営、老後の生活についての考え方等</p> <p>(5) 決済手段 日常的な支払いの主な資金決済手段、平均手持ち現金残高等</p> <p>(6) 金融制度等 預金保険制度の認知度、金融機関の選択理由等</p>
調査対象者の抽出方法	<p>層化二段無作為抽出法により全国から 500 の調査地点を選び、各調査地点から無作為に 16 の世帯 (二人以上世帯) を選ぶことによって計 8,000 の調査対象 (標本) を抽出。但し、今回は熊本地震が発生したため、被災地域 12 調査地点 (192 世帯に相当) を除外。</p>
調査の方法	<p>(1) 訪問と郵送の複合・選択式によって調査依頼・回収しました。</p> <p>(2) 2016 年調査の実施および結果の集計は、(株) 日本リサーチセンターに委託しました。</p>
調査の時期	<p>2016 年 6 月 17 日～7 月 26 日</p>
回収状況	<p>標本数：8,000 世帯 回収数：3,497 世帯 回収率：44.8 % (熊本地震の被災地域を除く)</p>
調査結果の公表	<p>調査結果は、当委員会のホームページで公表した (2016 年 11 月 4 日) ほか、冊子を作成しました。</p>

2. 単身世帯調査の概要

調査の内容	(主な調査項目) 上記の二人以上世帯調査と同じ。
調査対象モニターの 選定方法	(選定方法の概要) ・20歳以上70歳未満で、単身世帯を構成する者。 ・モニター数は2,500を有効回収数として確保する設計とし、直近(2010年)の国勢調査の単身世帯データにおける地域・年代・男女別の構成比に基づき回答者割付を行いました。
調査の方法	(1) インターネットモニター調査の方法によって、調査依頼・回収しました。 (2) 2016年調査の実施および結果の集計は、(株)日経リサーチに委託しました。
調査の時期	2016年6月24日～7月7日
回収状況	有効回収モニター数 : 2,500名
調査結果の公表	上記の二人以上世帯調査と同じ。

主な金融・経済講演会の開催状況 (2016年度)

(敬称略)

日時	開催地	講師名	テーマ
2016年 4月23日(土)	宮城	伊藤元重 (東京大学名誉教授、学習院 大学国際社会科学部教授)	国際金融経済が直面する課題と今後の展望
5月20日(金)	栃木	西田公昭 (立正大学心理学部教授)	だまされる心の法則 ～心理学からみる詐欺・悪質商法の 予防対策～
5月21日(土)	和歌山	菊地幸夫 (弁護士)	身近な消費者問題の対処法 ～実態 を学んで、心豊かな人生を～
5月21日(土)	三重	片山善博 (慶應義塾大学法学部教授)	真の「地方創生」に向けて消費者に 求められる視点
7月13日(水)	東京	あんびるえつこ (生活経済ジャーナリスト、 「子供のお金教育を考える 会」代表)	「子供や孫に伝えるお金の話」～お こづかいから始める生き方教育～
7月23日(土)	京都	藤沢久美 (シンクタンク・ソフィアバ ンク代表)	どうなる？先行きのくらしと経済 ～これからの私たちに必要な金融知 識
9月7日(水)	北海道 (札幌)	大江 英樹 (ファイナンシャル・プラン ナー、経済コラムニスト)	「損をしないための経済学」
9月10日(土)	富山	住田裕子 (弁護士)	長寿社会を安全・安心に暮らすため に
9月22日(木)	群馬	荒木由美子 (タレント、女優)	介護のミ・カ・タ ～知っておきたい 心の準備、お金の準備～
9月26日(月)	長野	伊藤元重 (東京大学名誉教授、学習院 大学国際社会科学部教授)	キーワードで読み解く日本経済
10月1日(土)	佐賀	宮川俊二 (キャスター)	キャスターの目から見た日本経済
10月13日(木)	神奈川	蟹瀬誠一 (国際ジャーナリスト、明治 大学国際日本学部教授)	グローバル経済と日本の行方
10月15日(土)	秋田	見城美枝子 (青森大学副学長、エッセイ スト)	もっと知りたい ～変わりゆく時代 に生きる～

日 時	開催地	講 師 名	テーマ
10月15日(土)	島 根	パッケンマックン (タレント)	笑撃的国際交流 ～日米の家庭でのお金模様～
10月22日(土)	岡 山	菊地幸夫 (弁護士)	「世の中うまい話はない！消費者問題あれこれ」
10月25日(火)	兵 庫	山田真哉 (公認会計士、税理士)	お金のツボ ～家計・ライフプランニングに役立つ話
10月29日(土)	岐 阜	生島ヒロシ (フリーアナウンサー)	心と体と財布の健康
10月30日(日)	香 川	堀田 力 (さわやか福祉財団会長、弁護士)	高齢社会をささえるネットワーク～能力と財産を活かして幸せに暮らせる社会～
10月30日(日)	茨 城	和泉昭子 (生活経済ジャーナリスト)	「どうなる？社会 どうする我が家のマネープラン」
10月30日(日)	北海道 (旭川)	荒木由美子 (女優、タレント)	「知っておきたい介護のはなし」～介護の心づもりとお金の準備
11月3日(木)	北海道 (帯広)	ダニエル・カール (翻訳家、タレント、山形弁研究家)	オラの日米おもしろお金講座
11月9日(水)	高 知	宮川俊二 (キャスター)	「今、求められる消費者の自立」～ニュースキャスターからみた視点～
11月12日(土)	岩 手	山田真哉 (公認会計士、税理士)	会計士が教える貯蓄と投資のセンスアップ
11月12日(土)	青 森	パッケンマックン (タレント)	楽しく学ぼう！お金の大切さ
11月16日(水)	千 葉	荒木由美子 (女優、タレント)	「介護のミ・カ・タ」～知っておきたい心の準備、お金の準備～
11月17日(木)	石 川	菊地幸夫 (弁護士)	世の中うまい話はない！消費者問題あれこれ
11月19日(土)	静 岡	パッケンマックン (タレント)	苦労を笑に変えるコミュニケーション力
11月20日(日)	沖 縄	パッケンマックン (タレント)	貯めるお金、育てるお金!?～こんなに違う日米お金の話あれこれ～

日 時	開催地	講 師 名	テーマ
11月29日(火)	熊 本	片山善博 (慶應義塾大学法学部教授)	震災復興から消費者行政を考える
12月15日(木)	山 梨	池谷裕二 (東京大学薬学部教授、脳情報通信融合研究センター招聘研究員)	誰もが持っている『ココロの盲点』とどう向き合うか ～お金の騙されないために～
2017年 1月10日(火)	鳥 取	蟹瀬誠一 (国際ジャーナリスト、明治大学国際日本学部教授)	グローバル経済と日本の行方
1月13日(金)	愛 知	坂東真理子 (昭和女子大学総長)	品格ある生き方のために ～くらしの経済学～
1月29日(日)	滋 賀	住田裕子 (弁護士)	気をつけよう！金融トラブル ～騙されないで！うまい話にご用心～
2月4日(土)	愛 媛	パッケンマックン (タレント)	「笑撃的国際交流 ～日米の家庭でのお金模様～」
2月9日(木)	大 分	菊地幸夫 (弁護士)	菊地流魅力的人生のススメ 消費者問題の実態
2月19日(日)	長 崎	パッケンマックン (タレント)	パッケンマックンの勉強は娯楽だ！
2月23日(木)	福 岡	大江英樹 (ファイナンシャル・プランナー、経済コラムニスト)	今さら人に聞けない「金融」「経済」基本のキ
2月24日(金)	福 島	荒木由美子 (女優、タレント)	介護のミ・カ・タ ～知っておきたい心づもりとお金の準備～